OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	Omoituita mama, ＸＩ
Author(s)	福原, 満洲雄
Citation	全国紙上数学談話会. 1937, 146, p. 310-312
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/74577
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

Omoituita mama XI

福原　満洲雄（九大）

1. “丁度コンマデ書キ上ゲタトキ，偶々、岡田武松先生ノ新著「續測候瑣談」ノ中デ（66頁），次ノ文章ニ接シタノデアル。

「故佐野静雄先生ハ，物理学ノ大家デアッタノハ，我々仲間デハ誰知ラナイモノガナイガ，先生ガ常識ニ富ンダ人デ，處生ノ要諦ヲ摑ンデ居ラレタコトヲ知ルモノハ少ナイト思フ、先生ハ決シテ邦人ノ書イタ論文ハ批評シナイノミカ，嘗テ自身ノ研究ヲ発表スルトキニモ夫レニハ触レナカッタ、是レハ兎角同業者間ノ喧嘩ノ種ニナルカラデアル、……ドウモ是レハ一ソノコト佐野先生ノヤウニ、オ互ニ触レナイ，人ノ名ナドハ出サナイト云フヤウナ行キ方ノ方ガ無難ノ様ニ見エル、……」

ア、吾ガ「学界」ニ於テ生活ヲ続ケルタメニハ，吾々ハ

遂ニ批評ノ筆ヲ折ラネバナラナイノデアラウカ？”
（小倉，科學書ノ批評ニツイテ，學鐙，第41巻，9月号）

思フコト言ハヌハ腹フクルルワザナレド、批評ノ筆ヲ折ラネバナラヌ學界ニ住ム身ノ辛サ。

2. 九大ノ工學部ニハ研究ノ発表機関トシテ紀要（欧文）ト彙報（邦文）トガアル。後者ハ今年ノ四月カラ今迄ニ五回程出テキルガ、前者ハ一度モ出ナイ。同ク所ニヨルト研究ノ発表ハ前者ガ出デ後者ガ従ナノダサウデアル。所ガ外國語デ書ク暇ニ研究ヲ続ケタ方ガヨイト云フノデ紀要ニ出ス人ガナイ、ソレデ紀要ハ去年ハ遂ニ一度モ出ナカツタ、今年モ未ダ一ツモ出ナイノデアル、ト云フ話。數学界ノ現状ニ比較スルト一寸面白イ。

3. 我國ノ學界ガ欧米ノ學界ヲ凌駕スルヤウニナツテモ輸入專門家ハ不必要ダトハ言ヘナイダラウ、我々ハ独善的ナ考ヘ方ニ陥ツテハナラナイノダ、併シ現在輸入專門家ガ居ルダラウカ、外國物ノ輸入紹介ハ研究ノ片手間仕事トナツテヰルニ過ギナイ、外國ニ於ケル研究ノ紹介ヲ現在ノヤウナ不統一ナ状態ニ放任シテ置イテヨイモノダラウカ。

発表サレル論文ノ数ハ多イガ、読ム必要ガアル程重要ナモノハソノ中ノ小部分ニスギナイ。数多クノ中カラソレヲ選ビ出スコトハ決シテ容易ナコトデハナイ。若シ重要ト思ハレル論文ダケヲ選ンデ紹介スル機関紙ガアレバ學界ニ稗益スル所大デアラウ。数物会誌創設ノ目的ガ何処ニアツタカハ知ラナイ。論文ノ紹介モヨイ、綜合報告モヨイガ，余リニモ

秩序がナイ。論文ノ紹介ヲスルナラ重要ナモノハ落サナイヤウニ、下ラヌモノハ載セナイヤウニスルノガナケレバ、ソレニヨッテ学界ノ大勢ヲ推測スルコトハ出来ナイ。総合報告ハ此ノ前ニハドノ方面ノモノヲ載セタカラ今度ハドノ方面、コノ次ハドノ方面トイフヤウニ計画ヲ立テ。適当ト思ハレル人ヲ選ンデ書カセルトヨイト思フ。専門家ハソノ尤モ得意トスル所ニ於イテハ専門外ノ人ニモ分ルヤウニ紹介ノ筆ヲ執ルガケノ用意ガナケレバナラナイ。